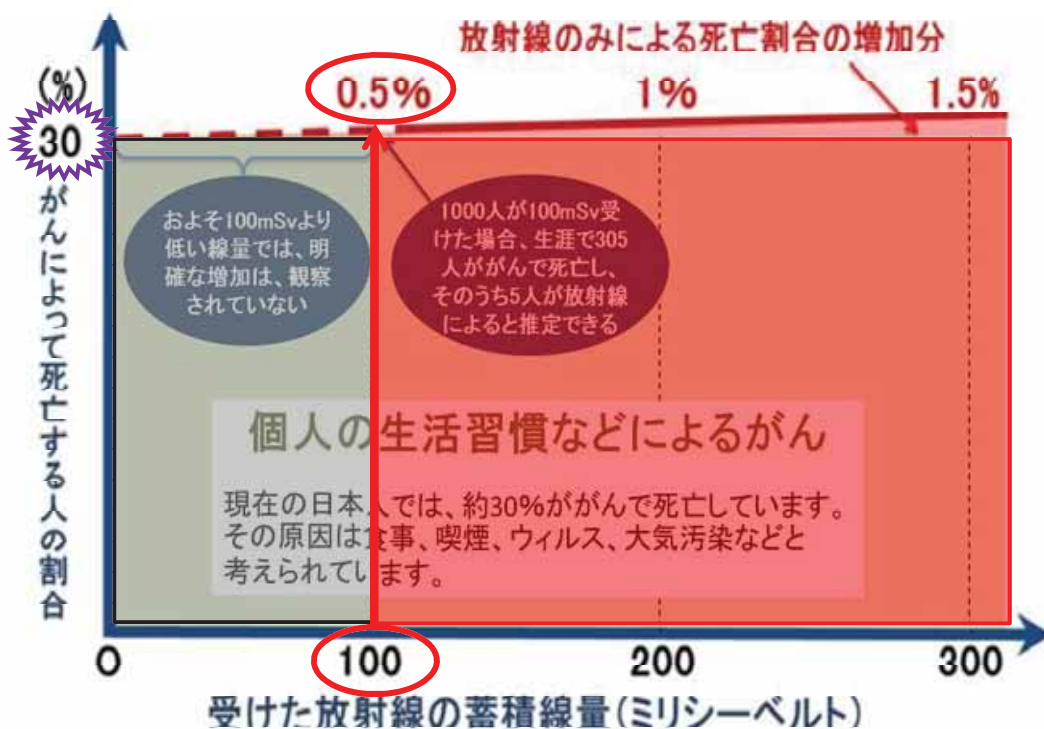


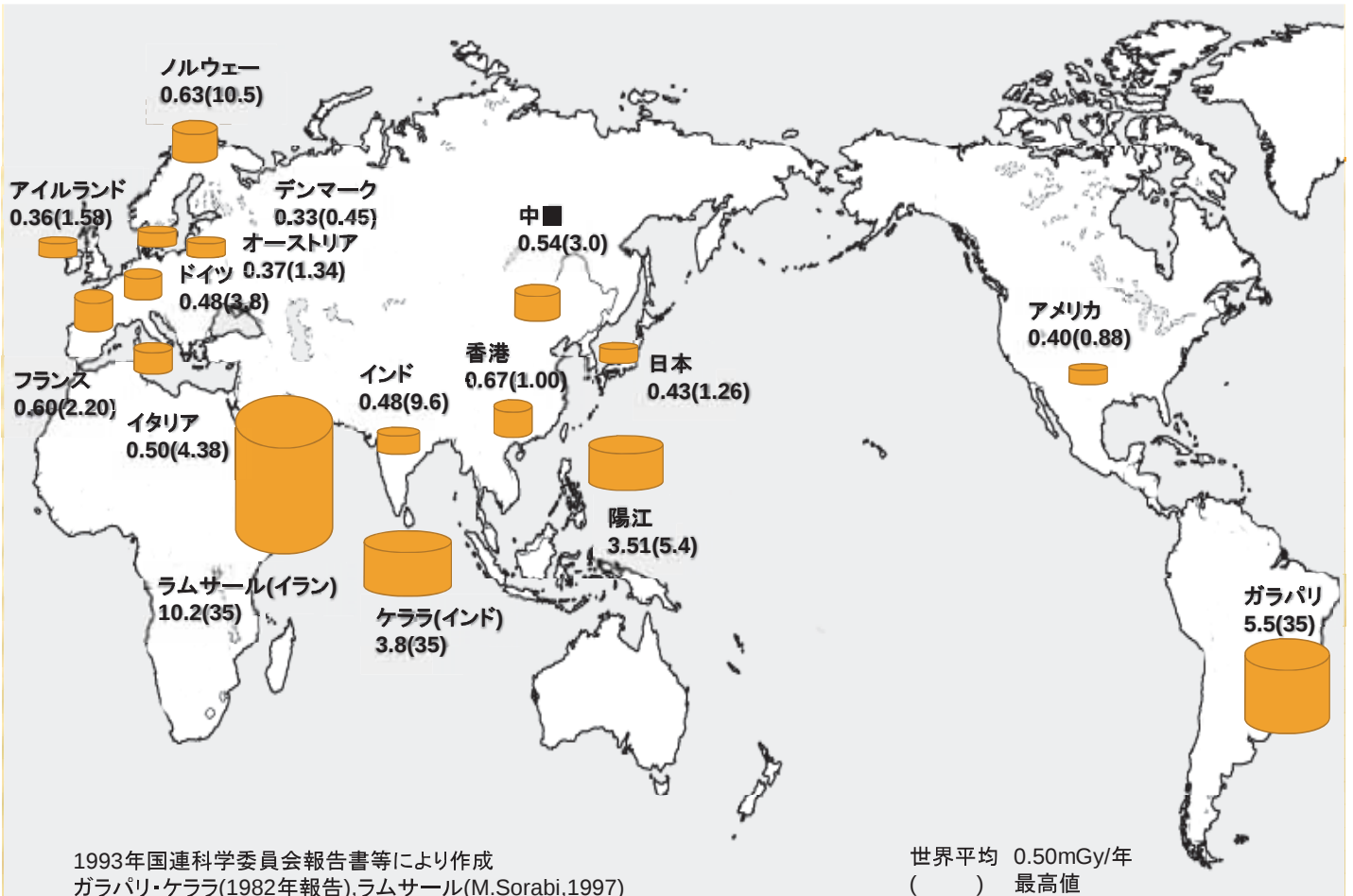
確率的影響におけるリスクとは

年間で100ミリシーベルトまでゆっくりと被ばくした場合のがん死亡

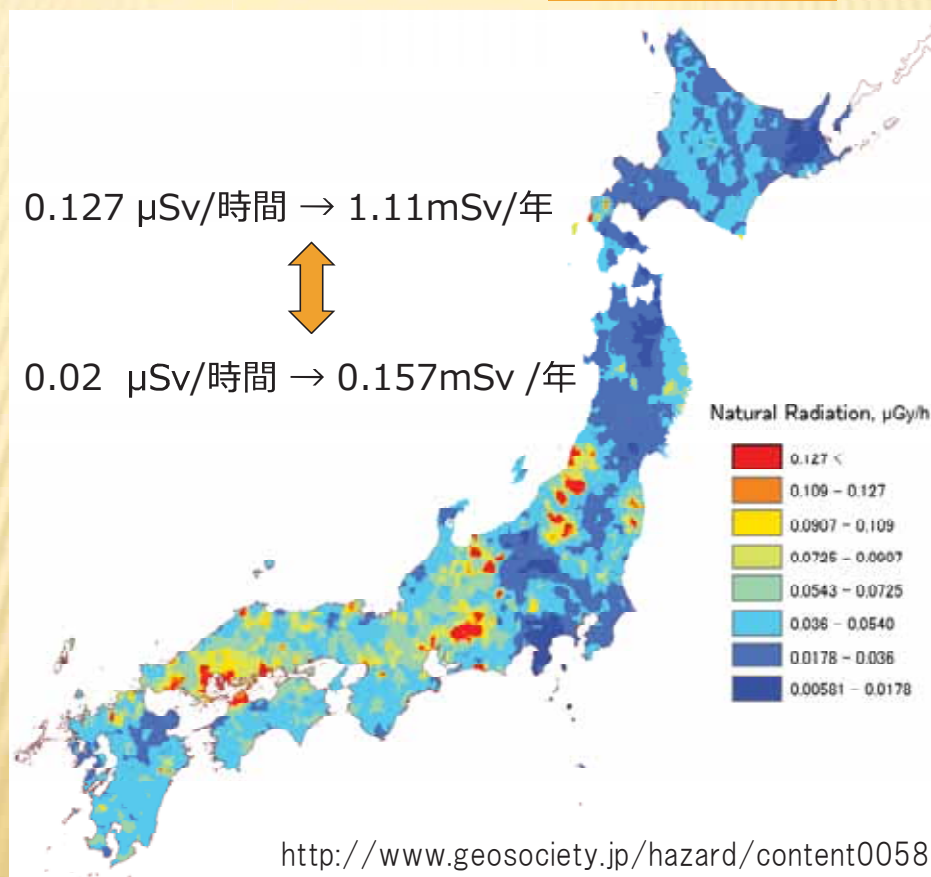


※放射線防護における考え方

13
放射線医学総合研究所ホームページより転載



大地からの自然放射線量



15

様々なWBC



放医研

長崎大学

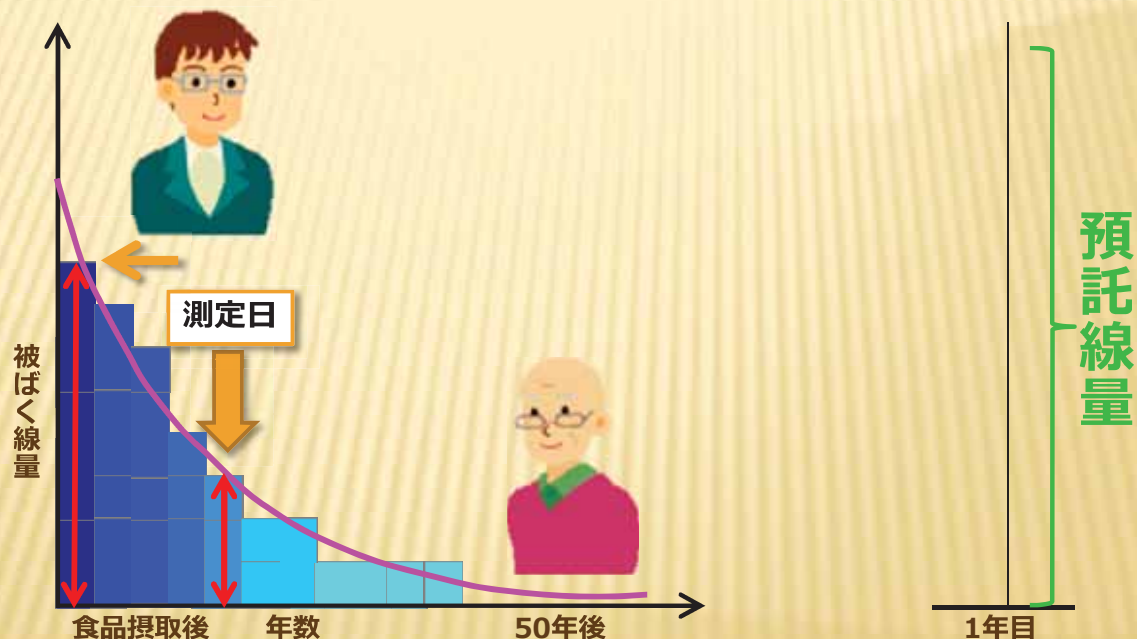
福島県立医科大学

Jヴィレッジ

16

預託実効線量とは（実測法）

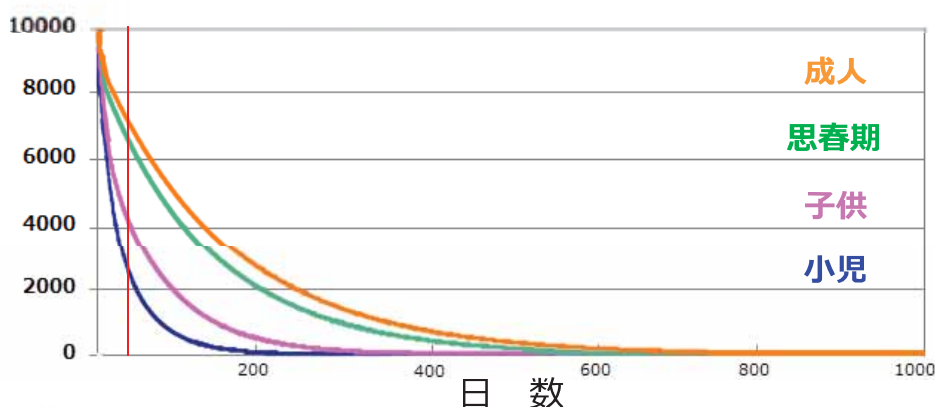
放射性物質摂取後50年間(小児では70歳まで)に
受ける量を摂取時に受けたと想定した放射線量のこと



図：文部科学省「環境放射線データベース」より
<http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top> (参照 2011-07-07)

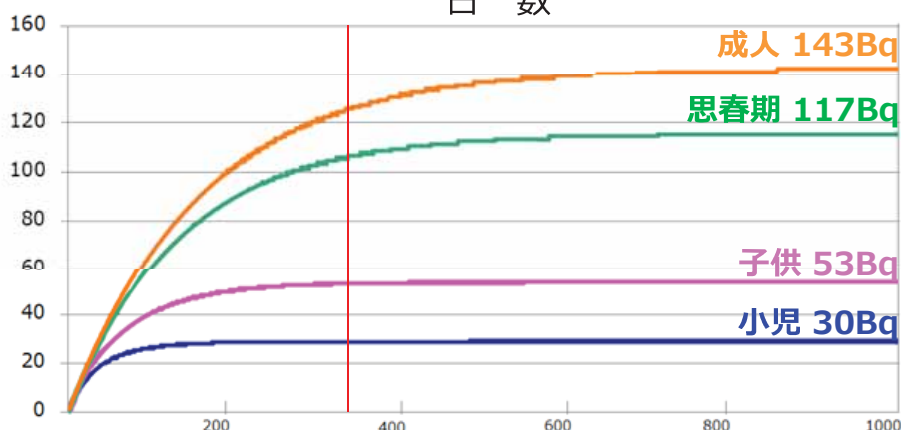
17

CS-137の生物学的半減期と体内滞留



10,000Bq を1回で
取りこんだ場合

若年のほうが
排泄がはやい



毎日 1Bq を
取り込んだ場合

若年のほうが
滞留量が少ない

18